

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 4 月 6 日 (2006.4.6)

【公表番号】特表 2002-503673 (P2002-503673A)

【公表日】平成 14 年 2 月 5 日 (2002.2.5)

【出願番号】特願 2000-531466 (P2000-531466)

【国際特許分類】

C 0 7 K 5/00 (2006.01)

C 0 7 D 213/80 (2006.01)

C 0 7 D 213/85 (2006.01)

C 0 7 D 311/24 (2006.01)

C 0 7 D 498/08 (2006.01)

C 0 7 D 498/22 (2006.01)

C 0 7 D 501/34 (2006.01)

C 0 7 H 19/16 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 5/00

C 0 7 D 213/80

C 0 7 D 213/85

C 0 7 D 311/24

C 0 7 D 498/08 3 0 1

C 0 7 D 498/22 3 0 1

C 0 7 D 501/34 1 0 5

C 0 7 H 19/16

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 2 月 15 日 (2006.2.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

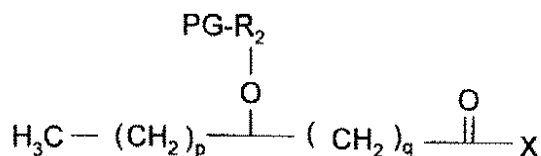
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式：

【化 1】



(式中、

P G - R₂ は、場合により N - 保護されている脂肪族 L アミノ酸のアシル残基であり、p は 0 - 5 であり、q は 0 - 5 であり、X はヒドロキシ基または活性化基である)

を有する合成中間体。

【請求項 2】

X がハロゲンである請求項 1 に記載の中間体。

【請求項 3】

p が 0 である請求項 1 または 2 に記載の中間体。

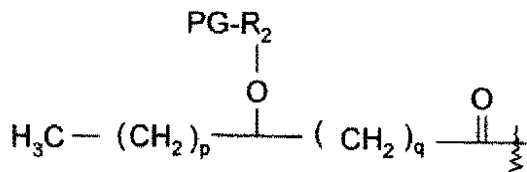
【請求項 4】

q が 0 である請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の中間体。

【請求項 5】

部分的な式：

【化 2】



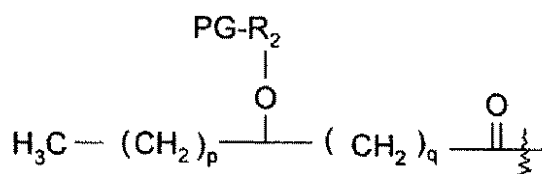
で表される部分が、次の部分：

[2 - (L - バリルオキシ) - ブチリル]、[2 - (L - イソロイシルオキシ) - ブチリル]、[2 - (L - バリルオキシ) - ペンタノイル]、[2 - (L - イソロイシルオキシ) - ペンタノイル]、[2 - (L - バリルオキシ) - ヘキサノイル]、[2 - (L - イソロイシルオキシ) - ヘキサノイル]、[2 - (L - バリルオキシ) - プロピオニル]、または [2 - (L - イソロイシルオキシ) - プロピオニル] から選択される請求項 4 に記載の中間体。

【請求項 6】

部分的な式：

【化 3】



の部分が、部分 [2 - (L - バリルオキシ) - プロピオニル]、または [2 - (L - イソロイシルオキシ) - プロピオニル] であり、その部分は L - 乳酸に由来する請求項 4 に記載の中間体。

【請求項 7】

2 - N - Y - L - バリルオキシ - L - 乳酸 (Y は F m o c、B o c、または C B z である) および対応する活性化された酸ハライドよりなる群から選択される請求項 1 に記載の中間体。